

**平成23年度 第6回 鳥取市生活交通会議
議 事 要 旨**

1. 日 時 : 平成24年3月21日 (水) 10:00~12:00

2. 場 所 : 鳥取市役所 本庁舎 4階 第4会議室

3. 出席者 :

○会 長	[学識経験者]	鳥取大学大学院 工学研究科 教授	谷 本 圭 志
○副会長	[鳥取市]	都市整備部長	大 島 英 司
○委 員	[住民・利用者代表]	市自治会連合会 (河原町, 用瀬町, 佐治町)	谷 村 萬 吉
		〃 (気高町, 鹿野町, 青谷町)	水 上 洋 八
		市老人クラブ連合会 (旧鳥取市, 国府町, 福部町)	前 田 豊
	[運送事業者]	日ノ丸自動車株式会社 営業部長	中 島 文 明
		日本交通株式会社 業務課 係長	山 本 高 広
		西日本旅客鉄道株式会社 鳥取鉄道部運輸科長	三 谷 宏 志
	[事業者団体]	鳥取県ハイヤータクシー協会東部支部長	橋 本 貞 治
		私鉄中国地方労働組合 日ノ丸自動車支部執行委員長	村 上 恵
	[中国運輸局]	鳥取運輸支局	高 田 修
	[警察]	鳥取警察署	稲 村 育 正

○事務局 : 鳥取市都市整備部交通対策室 (鈴木、九鬼、伊藤、有本、遠藤)

○その他 : バイタルリード (森山、古川)

4. 次 第 : 1) 開会

2) 会長挨拶

3) 協議事項

【案件1】 南部地域新総合公共交通計画の策定について

(1) 南部地域新総合公共交通計画(案)の市民政策コメントの結果

(2) 南部地域新総合公共交通計画(案)修正箇所

【案件2】 鳥取市公共交通利用促進キャンペーン (ノルデ) について

【案件3】 南部地域実証運行に向けたスケジュールについて

【案件4】 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

4) 報告事項

(1) 平成24年2月定例市議会での一般質問について

(2) 平成24年4月1日のバスダイヤ改正について

(3) 高齢者バス優待事業について

(4) 鳥取駅-いなば墓苑間の乗合タクシーについて

5) その他

5. 議 事

案件1 南部地域新総合公共交通計画の策定について

事務局・交通政策室（遠藤）資料説明（資料 1-1、1-2、1-3）

谷本会長 基本的に大きな変更はなく丁寧にやってきた経緯もあり、建設的な意見が多かった。ダイヤの要望はなくなることはないが、今のうちに対応できる部分に対応した方がいい。このまま HP にでるため、表現等でもわからない部分があればあげていただきたい。

水上委員 バスアテンダントは実際にどのように進めていくのか。アテンダントの必要性はわかるが、アテンダントが常に乗車するというのは費用などの面で難しいのではないか。ボランティアでやってほしいが、集まるのか。車内放送だけでうまく対応できないだろうか。

事務局 車内放送というのはどのようなイメージか。

水上委員 通常アナウンスしているイメージ

事務局 魅力向上策として、乗り継ぎの負担の軽減になればいいと思っている。予算確保は確かに難しいため、たとえば乗り継ぎ拠点となるリバーでは、現在協議中だが、時間帯によってはショッピングセンターの方に協力してもらいたいと考えている。また、市立病院経由便のみにアテンダントを配置する等の検討を行いたい。

水上委員 ここであまり費用をかけすぎると、今まで何をしてきたのかがわからなくなる。

谷本会長 アテンダントにも、車掌のように乗る場合と、拠点に配置するパターンの2つがある。リバーなどの話を聞くと、やはり拠点に配置するタイプか。

事務局 まだ検討段階ではあるが、はじめは乗り継ぎに迷うことも多いと思うので、河原では拠点に配置するタイプを考えている。テープによるアナウンスの話もあったが、やはり人が大事だと考えている。買物袋をもってあげるといった対応など、タクシーが人気なのもそういった要因があると思う。

谷本会長 テープにしてしまうと、アテンダントの意味がなくなってしまう。

事務局 なるべくお金をかけないように、実施したい。

水上委員 費用対効果が大事。すべての便につけるのも難しいので、どのあたりまでの範囲を実施するかも検討するべき。

谷本会長 先ほど、特定の便に配置という話もあったが、JR のグリーン車のように、そういった名前をつけてもいいかもしれない。

水上委員 JR ではできるが、バスの場合どこまでできるかが難しい。

谷本会長 今後、具体的に検討していただきたい。

谷村委員 運行してから、みなさんに知ってもらうというだけでなく、自治会や老人クラブなどを通じて事前に知らせることも、利用促進策として大切である。

事務局 その点も取り組んでいきたい。高齢者向けフリーパス3割引きも今後始まるので、そういった情報発信にも取り組んでいきたい。

谷村委員 事前に徹底しておくことが大切である。それによってスムーズに取り組みに入れる。

谷本会長 ケーブルテレビでも流せるのではないか？
 事務局 静止画などではできると思う。
 谷本会長 できれば動画にしてほしい。
 事務局 検討したい。
 村上委員 資料 1-1 の P4 について、乗り換え拠点の整備はどうなるのか？トイレなどの設備は設置するのか？
 事務局 リバーについては既存の施設を活用する。用瀬はまだ契約していないが、跨線橋をつけて駅と繋ぐという話がある。
 村上委員 跨線橋は高齢者にとって大変かと思う。乗り継ぎが楽しくなるとは言わないが、安心して待っていただけるスペースをつくるのが大切である。
 事務局 支線の車両も使用し、バスの中で待っていただけるようにすることも考えている。大きな小屋では、夏など少し暑くなるため、上屋がついたようなものをイメージしている。現在、準備を進めている。
 谷本会長 待合所には限界があって、冷房などは難しい。待合所はあるが、それよりも乗り継ぎ時間を少なくするようにすることが大切。支線から幹線へ乗り継ぐ場合はまだ車両の中で待てるが、逆の場合が難しい。バスの名称についても、例えば『西郷線〇〇接続便』といったように、分かりやすい名前とするなどの配慮をすることも合わせ技としてやった方がいいかもしれない。様々な面から総合的に、利用しやすい環境を整える必要がある。
 パブリックコメントについては、こういった形で結果を HP にのせたいと思う。特に問題がなければ、本件については承認としたい。

案件2 鳥取市公共交通利用促進キャンペーン（ノルデ）について

事務局・交通政策室（伊藤） 資料説明（資料2）
 谷本会長 非常にありがたい取り組みだと思う。本件の議題はなにか？
 事務局 報告とともに、施策内容などについてご意見があればお聞きしたい。
 水上委員 エコ通勤の促進を市役所中心に実施することは良いと思う。是非、県庁の方にもやっていただきたい。
 谷本会長 自転車のエコ通勤など進めていたため、県庁も関心はあると思う。
 大島副会長 まずは自分たち（市）が始めないと説得力がなく、その姿勢を示すため、こういった書き方になっている。
 水上委員 県も是非積極的に取り組んでほしい。
 谷本会長 実証運行なども含めて、全体では今後どのようなスケジュールになるのか？
 事務局 次の議題で説明する。

案件3 南部地域実証運行に向けたスケジュールについて

事務局・交通政策室（九鬼） 資料説明（資料3）
 谷本会長 だいぶ具体的な活動のイメージがわかった。先ほどのバスアテンダントと関連するが、これはノルデ会議でアイデアがでるというイメージか？
 事務局 ノルデ会議で情報提供もする。
 大島副会長 ノルデ会議では、公共交通を通勤にも使えるという点をメインに発信したい。

その後、シンポジウム、モニター募集などについても進めていく。バスアテンダントはボランティアをお願いすることも検討している。ノルデ会議では、そういった内容の報告という形になる。

- 谷本会長 ノルデ会議で何をするのかというところにも関連するが、行政内の縦割りを超えた取組が、この会議で実施されるということを期待した質問だった。医療や教育など、交通はすべてのことに通ずる話でもある。
- 大島副会長 そういったご意見も参考にしたい。
- 谷本会長 学校の実習の一環でというのも考えて良いと思う。
- 水上委員 今の話にも関連するが、病院では院内の案内をする人がいる。あのような形のアテンダントがいいと思う。
- 大島副会長 我々もこのアテンダントをどこまで広げるか悩んでいる面もある。アテンダントの話に力を入れ過ぎて、実証運行に支障が出れば問題である。
- 谷本会長 交通は、いろいろな物事の接点であり、幅が広い。他の部局にも是非一緒になって取り組んでいただきたい。単に、エコ通勤をお願いするだけでは、受け身となり、上から目線の話になってしまう。もう一方の側面として、公共交通を市民全員でどのようにかわいがっていくか、育てていくかという部分を、みんなで検討することが大切である。そうした広い話の中で、エコ通勤に力を入れるという話にしていただければと思う。
- 大島副会長 先生の提案はあさっての部長会議でも提案させていただく。
- 谷本会長 他になければ承認としたい。今後も、いろいろな形で報告していただきたいと思う。

案件4 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事務局・交通政策室（遠藤） 資料説明（資料4）

- 谷本会長 前段のスケジュールは難しかったが、国から補助をいただいているという関係で総括が必要ということである。どちらの線も総合的にみれば、利用者が増加している。特に問題がなければ微調整して提出になる。なければこちらの評価で合意としたい。

報告(1) 平成24年2月定例市議会での一般質問について

事務局・交通政策室（鈴木） 資料説明（資料5）

- 谷本会長 議員の方にも乗ってもらえないか？
- 大島副会長 南部実証運行が近くなる6月に議会がある。市長にもぜひ提案してほしいとは思っている。
- 谷本会長 あってしかるべきだと思う。他に何かあるか？特になければ次に行きたい。

報告(2) 平成24年4月1日のバスダイヤ改正について

事務局・交通政策室（有本） 資料説明（資料6）

- 谷本会長 中央病院線は北園団地線と統合するということか？
- 事務局 北園団地線では中央病院を経由することになり、時間は長くなる。一方、乗

換が軽減するというメリットもある。

山本委員 朝夕の通勤通学利用時間はそのままにしている。今まで乗り換えで料金が高くなっていたのが、そのままいけるようになる。これまで、空バスとなっているという意見もあったが、そういった無駄を減らしていくことなどを考え、今回のダイヤ改正とした。北園地区の全住民の方にも回覧などを流したが苦情もなく、これで進めていきたいと考えている。

谷本会長 特になければ、次に進めたい。

報告(3) 高齢者バス優待事業について

事務局・交通政策室(有本) 資料説明(資料7)

谷本会長 平成23年度は回数券の割引で3割引きだったか？

事務局 これまで行っていた回数券の割引は終了し、今年からは高齢者のフリーパスのみ3割引きとする。南部の実証運行では、こちらの因幡を使っていたらと思う。

谷本会長 パブコメの意見でもあがっていたが、これは日ノ丸以外のタクシー事業者が運行する支線でも利用できるのか？

事務局 利用できる。何度も使っていただければお得になる。

谷本会長 これまで、値引き策などを実施してきて、事業者側から見てその効果はどうか？例えば、外出回数や利用者数が増加したなど。

事務局 アンケート調査をとっていて、外出回数が増えたという話もある。

谷本会長 具体的にどの程度増えたのか。なぜこういう割引方式に変わったか、わかるデータもあればほしい。総合的に考えるのがこの会議だと思う。

事務局 データについては、確認したい。

報告(4) 鳥取駅-いなば墓苑間の乗合タクシーについて

事務局 生活環境課(前田) 資料説明(資料8)

谷本会長 前回、もう少し細かな説明をいただければという要望をしていた件である。前回の話では、特定の個人のみサービスしているとしたら、公共の費用を使うという点では望ましくないということであったが。

事務局 まだ特定の人などは確認できていない。毎月同じ人が乗ることはないと思うので、ほとんど違う人が利用していると思う。

谷本会長 墓苑の利用者が200名ほどというのは、どのようにしてわかったか？

事務局 市営墓地の許可をだしているのが、二つの墓地で2000数十名おり、その方々に文書で説明し、無作為でアンケートをとった。その結果、そういったものがあればやっていただけないかという声が大きかったため、対応している。

谷本会長 みなさんあった方がいいとは答えると思うので、難しい。この利用者数をどう見るかだと思う。

大島副会長 墓地の会計・運営の中で、どうしていくかという話だと思う。

谷本会長 墓地の特別会計というのは初めて聞く。

事務局 時期を限定するなど、今後検討しないとは感じている。

橋本委員
事務局
橋本委員

これは土日だけの運行か？
日曜日とお盆、お彼岸のみ実施している。
運行時期が重要である。彼岸などでは時期よりも早く行く人が多く、反対に期間中に行く人は少ない。タクシー利用者をみていると2日間がピークである。日にちの設定をもう少し工夫すれば、利用回数は増えると思う。ほとんどの人が早めに行っている。日本交通さんには悪いが、バス停の時間がよく見えるといい。もっと大きな字で書いてあげた方がいい。

谷本会長
事務局
谷本会長
事務局
谷本会長

他の墓地もやってくれと言われたらどうされるのか？
他から要望があれば、ここだけに対応するという事もできない。
今回は要望があったのか？
市民から声があがった。
特別会計の使い方、他からあがれば様子がかわってくると思う。その他はよろしいか？

5：その他

谷本会長
事務局
三谷委員

その他、事務局より何かあれば。
JR から新しい時刻表がをいただいたので提供いたします。
鳥取地区での大きなダイヤ改正はない。

以 上

